



NO. 171

# 響音

(ひびき)

発行 チャイルドライン ハートコール・えひめ  
〒790-0808 松山市若草町 8-3  
松山市ボランティアセンター気付  
Tel 089-923-9558 Fax 089-916-9710  
E-mail heart-call@kke.biglobe.ne.jp  
http://www7b.biglobe.ne.jp/~heart-call/  
発行責任者 染川まどか  
発行者 染川まどか  
編集者 三好久恵

## 受け手のための継続研修



2021年6月27日(日) 10:00~12:00

松山市総合福祉センター 5F 母子児童交流室 参加者 9名

司会進行役: スタッフ

テーマ 気持ちを聴く～チャイルドラインが大切にしていること～

受け応えに見るテレフォン人生相談とチャイルドラインとの違い

2021年6月10日のテレフォン人生相談の受け応えを読みながら、どの部分が引っ掛かったか、自分ならどう対応するか、またチャイルドラインとの違いは何かなど話し合いました。

### ◆参加者の感想

- ・話の内容が自分の価値観と違うと何とか添わせようとしている
- ・言ってきたせ、説き伏せる、教え諭しているよう
- ・相手は声が小さいのに、対応している人は声のトーンが高い、大きい
- ・からまった気持ちを整理してあげるような聴き方が大切
- ・今一番話したいこと、言いたいことを聴いてあげたい
- ・電話を切った後、本人がこのことを言いたかったわけじゃないと気付くのも必要
- ・前向きな気持ちをただ一つの望みにすぎるととらえない

悩み相談とチャイルドラインの聴き方にはそれぞれ役割があり、違いがあります。対面のカウンセリングとチャイルドラインの聴き方にも違いがあり、どちらも大切な聴き方だと思います。こうやって寄せてみると違いがよくわかり、改めて初心に帰らされます。

子どもの気持ちを聴く、いっぱい詰まった気持ちを少しでも吐き出してもらいたい、そう願いながら心を込めて聴いていきたいと思っています。



2021年8月8日（日）10：00～12：00

松山市総合福祉センター 5F 小会議室 参加者 18名

司会進行役：スタッフ

## テーマ 高知東生さんのツイッターを題材にして

高知東生さんは 2020 年のツイッターで

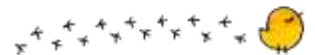
「17歳の時の母親の自殺、最後の会話、喪失感、怒りや悲しみ、様々な感情をどう吐き出していいかわからず、荒れて喧嘩ばかりした、平気な顔で自分の気持ちを隠した、十分に泣いたり、嘆いたりできる時間があったらよかった、居場所がなくそれが出来なかった、嘆き悲しむ人に自分の良かれと思う励ましを押し付けなくて欲しいと思う、悲しみは簡単に癒えない」と綴っています。

子どもたちが十分に泣いたり、嘆いたり出来る時間、居場所になりたいと思っている私たちに突き付けられた題材です。

自分の良かれと思う励ましを押し付けなくて、悲しみは簡単に癒えない、のことばを深く胸に押しとどめたいです。

### ◆参加者の感想

- ・人の気持ちは本当にはわからない。でも寄り添うこと、泣かせておくことも大事。でも待っているよというメッセージを伝える。
- ・自分の良かれと思う押し付けをしないでほしい、つもりではあるが、押し付けていることが多いのかな、と反省した。聴く姿勢を改めて学ぶことが出来ました。
- ・おもしろい研修でした。「はげまし」について考えたのはよかった。こんな風に自由に発言できるのはいいですね。シリーズで研修を担当してもらいたい。
- ・気持ちを楽にすることの難しさ、相手が何を言いたいのかくみとる難しさ、相手の心に寄り添いよく話を聴き、気持ちを吐き出させてあげることができれば、少しは辛い気持ちを癒してあげられるのかと、でも最後は自分自身で乗り越えなければならない問題だと思います。
- ・励ましの言葉がこれほど相手の心に届かないものなんだと考えさせられ、ストンと腑に落ちた。心の内を分かり共感できるためには、ただひたすら聴くしかないということで、これまでの研修でも勉強し、実践できていなければならないが、私は残念ながら、まだまだなので更に努力したい。





## 第21期受け手養成講座が始まります

回数	日時	テーマ	講師
1	10月3日(日) 10:00~12:00 5F 会議室 5	公開講座 聴く力で人間関係を豊かに	福本由美氏
2	10月10日(日) 10:00~12:30 3F 会議室 2	子どもをどうとらえるか ① 子どもの権利	愛媛CAP 川口梅子氏
3	10月10日(日) 13:30~16:00 3F 会議室 2	子どもをどうとらえるか ② 子どもの貧困	まつやま子ども食堂代表・シングルマザー交流会松山 野中令子氏
4	10月17日(日) 10:00~12:30 4F 視聴覚室 A	子どもをどうとらえるか ③ 摂食障害	一般社団法人愛媛県摂食障害支援機構代表 鈴木こころ氏
5	10月17日(日) 13:30~16:00 4F 視聴覚室 A	子どもをどうとらえるか ④ 子どもの発達障害	ダンボクラブ 田中輝和氏
6	10月24日(日) 10:00~12:00 3F 会議室 2	子どもをどうとらえるか ⑤ 不登校の子どもの現状	一般社団法人フリースクール愛媛理事・ルートキャップ実行委員長 末田健人氏 大学生 武井律樹氏
7	10月31日(日) 10:00~12:30 3F 会議室 2	子ども時代に立ち返る	カウンセリングスペース妻の家カウンセラー 村上由美子氏
8	10月31日(日) 13:30~16:00 3F 会議室 2	体験「聴くことってどんなこと？」	カウンセリングスペース妻の家カウンセラー 村上由美子氏
9	11月7日(日) 10:00~12:30 4F 創作室	体験「聴いてもらえる喜びを体験」	カウンセリングスペース妻の家カウンセラー 村上由美子氏
10	11月7日(日) 13:30~16:00 4F 創作室	体験「子どもの気持ちを受け止める」	カウンセリングスペース妻の家カウンセラー 村上由美子氏
11	11月14日(日) 10:00~12:00 3F 会議室 2	チャイルドラインの聴き方	チャイルドライン ハートコール・えひめ代表 染川まどか氏

昨年は残念ながらコロナ禍で養成講座が開催できませんでした。

今年も変わらずの情勢ではありますが、延期も覚悟しながらプログラムを作成しました。

どうか実施できますように。

※会場は松山市男女共同参画センターコムズです。

今回はパート 2 でもありました“松山市子ども育成条例”について書いてみます。

2003 年 9 月松山市は松山市子ども育成条例議案を議会に提出しました。家庭や地域の教育力低下が言われている中で、子どもを誰がどのように育てるか、一般的な社会規範を再確認すべきではないかと、松山市教育委員会が子育て関係団体や見識者 19 人で市民検討会をつくり、条例素案の検討を依頼しました。

条例の内容は、基本理念には「松山という郷土を愛する心をもつ」とあり、保護者の責務では「子どもに対して基本的な生活習慣、生活能力、接遇を身につけさせる。人権、善悪の判断、社会的な決まりなどを厳格な態度で教えること」とし、市民の責務では「社会規範に反する言動をやめさせる、熱意をもって補い導く」とあります。

この条例は保護者、市民に対して子育ての責務を決めつけ、子どもを健全に育成することを目的としていますが、健全とは何でしょうか、行政が思う健全とは。この条例を策定した時、検討委員は一般公募もなく法律家もなく、アンケート調査、意識調査、市民との意見交換もなく、民意とは程遠い 5 回の会議であっさり策定されました。

ハートコール・えひめが政治に口出しする気など毛頭なかったのですが、さすがにこの条例には反対でした。この活動以前に 15 年間子育て勉強会に参加して、必死で子育てしている親たちの辛い話を聴き続け、また電話で子どもたちの声を聴いている者にとって、この条例を通すことは許されないと思いました。

議会に反対の立場で招致され、何故反対なのかを緊張して震える声で訴えました。松山市議会始まって初めての継続審議となり、次の 12 月も続けて継続審議となりましたが、結局 3 月議会で少し内容を修正し制定となりました。

この間、たくさんの方々に出会い学びました。全国の制定されている子ども権利条例を取り寄せたり、川崎で開催された子どもの権利全国大会にも行きました。

大人が子どもを、大人が思う枠にはめ込んで枠からはみ出さないように見張るのではなく、大人は子どもが、いつでも安全のように楽しく過ごせるように見守ることが大切な仕事と思います。子どもの言い分にきちんと耳を傾けて、社会を共に作っていくパートナーとして、主導権を子どもに返すくらいの気持ちが大事だと思います。

今回はちょっと硬くなりましたが、まだまだ続く波乱万丈、次回もどうぞ読んでください。

## 編 集 後 記

我が家の猫の額ほどの庭に赤ちゃんカエルを 6 匹見つけました。小 6 女子はギャーと勝手口をバタン、小 3 女子と小 1 男子は何とか触れるようになると、毎日捕まえています。あんまり触ると弱るよと言っても追いかけて、何を食べるのか、泳ぐのかと騒いでいます。そのうち色違いの首輪がいるの、名前をつけるのと思ってみたり。子どもたちはコロナ禍でどこへも行けず、夏休みを只々自粛自粛で過ごしています。小 1 男子「ばあばドイツって知ってる?」「国の名前でしょ」「僕は、これはだれのや、どいつんやのドイツかと思った」「それ面白いね」「ばあば今ゲップしたでしょ」「聞こえた?」「セミの声が聞こえんなったなーと思ってじいーと聞いてたらゲップの音がした」「ごめん」孫たちとの自粛の夏休みが終わりました。(染)

